

議会だより



“笑顔で仲良く学び育つ” 都万小学校の児童たち

- 年頭のごあいさつ……………P2
- 12月定例会・第5回臨時会……………P3～P4
- 総括質疑……………P5～P6
- 一般質問……………P7～P12
- 常任委員会委員長報告……………P13～P14
- 住民との懇談会……………P15
- 採決の状況……………P16



大きなサツマイモ採れるかな？



年頭のごあいさつ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より本議会に対し格別のご理解とご協力を賜り、議会を代表し深く感謝申し上げます。

昨年は隠岐の島町町政施行二十周年の年を迎え、各種様々な記念行事が執り行われました。

町民の皆さまとともに記念すべき年を迎えたこと、誠に喜ばしく思います。

本議会は、昨年六月の定例会において「議員の定数条例の一部を改正する条例」を提案可決し、議員定数を二名減の十四名といたしました。

今年四月の一般選挙を経て、新体制でスタートいたします。

新体制となりましたも、二元代表制の一翼として議会としての責任を果たし、町民の皆さまの負託に応えるべく、自己研鑽を重ねてまいります。

町民の皆さまには、これまでと変わりませず、ご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、隠岐の島町の更なる発展と町民の皆さまにとって実り多い年となりますことを、議員一同心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和七年元日

隠岐の島町議会

議長 池田 信博

議長

池田 信博

副議長

大江 寿

岡田 智子

牧野 牧子

藤野 定幸

齋藤 則子

山田 浩太

村上 謙武

菊地 政文

西尾 幸太郎

池田 賢治

安部 大助

前田 芳樹

石田 茂春

高宮 陽一

米澤 壽重

(議席番号順)

令和6年第4回定例会は12月5日から13日までの9日間の会期で行われました。

上程議案は令和6年度各会計補正予算、条例の一部改正、工事請負変更契約の締結、財産の無償譲渡、指定管理者の指定、選任・任命同意等の計27件で、全て全会一致で可決・同意しました。

また、町政に対して10名が一般質問を行い、議案に対して4名が総括質疑を行いました。

各公民館を民営化へ！地域主体のまちづくりを

主な条例改正

◆公民館設置及び管理条例の一部改正

布施公民館、五箇公民館、都万公民館の管理を指定管理者で行うことができるよう条例を改正するもの。令和7年度より、布施公民館の管理運営を民営化及び中地区の公民館の運営体制に向けた検討を開始する予定となっている。あわせて五箇公民館、都万公民館についても指定管理者制度の導入について検討する。

改正の理由は、地域の人材が主体である組織が、公民館の運営・活動を行うことで、より地域に密着した公民館活動が展開され、地域の人材育成と振興に寄与することが期待できること。

◆隠岐の島町職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告及び県の人事委員会勧告等を参考にし、職員の給料表及び期末勤勉手当の支給率等の改正を行うもの。

◆隠岐の島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

正規職員の給料表及び期末勤勉手当の支給率の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

◆隠岐の島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

下水道の汲み取り方式の利用者の間に処理費の負担において不均衡が生じているため、し尿処理手数料について、所要の改正を行うもの。

主な一般会計補正予算（第7号）

◆小型旅客船等安全対策事業費補助金 ……789万円

小型旅客船の安全設備導入の際に国が認めた事業者に対し同等の上限額を設け、導入費用を補助するもの。安全設備は、改良型救命いかだ等、業務用無線設備、非常用位置等発信装置の予定。

◆がんばれ島のキッズ島外遠征事業補助金 ……212万円

町内児童・生徒・指導者の島外遠征にかかる渡航費を補助するもので、島外遠征の回数が増加したことにより、増額するもの。



小型旅客船（ローソク島遊覧船）



出荷される原木

◆戦略産品海上輸送費支援事業補助金(木材) ……673万円

原木の出荷量が当初を上回る見込みとなったため、増額するもの。

◆隠岐航路旅客運賃助成事業費 ……3,750万円

令和5年度の乗客数はコロナ禍以前並みに戻っており、令和6年度の乗客数は令和5年度より微増している状況にある。対前年比の上半期の増加比(最大値105%)を見込み値として、令和6年度下半期分の不足額を補正するもの。

選任・任命同意

◆隠岐の島町副町長 (選任)

大庭 孝久 氏
任期：令和7年1月1日～
令和10年12月31日

◆隠岐の島町教育委員会委員 (任命)

真野 裕敏 氏
任期：令和7年1月1日～
令和10年12月31日

議員間討議の実施

副町長の選任同意に関し、今後の町政運営及び行政と住民との関係などについて、議員間討議を行いました。
投票での採決により、全議員が選任同意に賛成しました。

町有財産の無償譲渡

◆西町旧西郷中学校跡地

譲渡先：社会福祉法人隠岐共生学園
目的：隠岐共生学園第一保育所の新設移転先の用地として提供し、福祉向上に寄与するため。



旧西郷中学校跡地

指定管理者の指定

指定管理施設	指定管理者	指定管理期間
西郷お魚センター(1階)	フィッシャーマンズワーフ隠岐合同会社	令和7年4月1日～令和12年3月31日
西郷お魚センター(2階)		
布施地区漁業振興施設	漁業協同組合JFしまね	令和7年4月1日～令和12年3月31日
島後斎場 愁霊苑	島根県農業協同組合	令和7年4月1日～令和12年3月31日
総合体育館・運動公園	(公財)隠岐の島町教育文化振興財団	令和7年4月1日～令和12年3月31日
隠岐の島町牧野	隠岐の島町牧野管理組合	令和7年4月1日～令和12年3月31日
隠岐の島町観光宿泊施設	株式会社 隠岐商事	令和7年4月1日～令和12年3月31日

10 月 臨 時 会

第5回臨時会を令和6年10月28日に開催し、令和6年度一般会計補正予算(第5号・第6号)、条例の一部改正、工事請負契約の締結など計5件の議案に対し、全て全会一致で可決・承認しました。

◆一般会計補正予算(第5号) ……1,475万円

衆議院議員総選挙事務に係る経費の追加(専決処分)。

◆隠岐の島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

中村浄化センターの供用開始によるもの。

◆隠岐の島町生活排水処理施設条例の一部改正

中村浄化センターの供用開始によるもの。

◆一般会計補正予算(第6号) ……1,208万円 難聴児童対応事業費

令和7年度入学予定の聴覚障がい児童受け入れのために、西郷小学校、有木小学校で必要な整備を行うもの。

◆工事請負契約の締結〔小津久港防波堤改良工事〕

4者による指名競争入札を行い、徳畑建設(株)が1億582万円で落札。

予算・条例などを
チェック!

総括質疑



質疑した議員

- ・西尾 幸太郎
- ・村上 謙武
- ・牧野 牧子
- ・前田 芳樹

紙面上、質問と答弁は要約した内容になっております。全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載されています。
また、YouTubeで動画も公開しており、スマホやタブレットから右QRコードを読み取ると簡単にアクセスできます。



旧今津小学校の受電設備切替工事について

西尾議員

今回、高圧気中開閉器に不具合が出て交換を検討し、受電設備自体を更新して経費節減を図ることのだが、高圧気中開閉器のみを更新した場合の費用はどの程度だったのか。

社会教育課長

徴収した見積もりでは198万円となっており、今回計上した工事費156万円よりも39万円ほど高くなっていた。

西尾議員

今回、電気代と定期点検費用合わせて年間40万円ほどの節減効果があると説明があった。施設利用の5年目から効果が出るが、この施設の現在の利用状況と今後の計画は。

社会教育課長

現在は保護司会の事務所、文化財の収蔵庫、小中学校を長期で休まれている子どもを支援する教育支援センターとして利用している。

令和4年度にバイオマス発電事業にこの施設を利用したいとの申し出があったが現在保留状態であり、令和7年度に再検討をする予定である。



高圧気中開閉器

ローソク島観光船に対する小型旅客船等安全対策事業補助金事業について

村上議員

この度、補正予算に

計上されている8隻

(8事業者)の小型旅客船等は、国土交通大臣が行った当該補助金事業に関して、もう既に交付決定通知を受けた船舶か。

商工観光課長

10月末までに申請を行い交付決定を受けた業者は4業者である。

村上議員

国への申請期間が10月31日までとなっており、残りの4業者は今回どう対応する予定か。

商工観光課長

今回申請された事業者は、国の補助制度を活用する目的で申請された方で、それ以外の

方は当面そのまま運用され、自己財源で購入するか、そのまま廃業する予定と聞いている。

村上議員

ローソク島の観光に関して、夏とか5月の連休に乗れない状況

が発生するのではないかと心配されるが、残りの4業者と今後の対応を協議する予定は。

商工観光課長

引き続き4業者とは話を進めていく予定であるが、船舶検査時にかかる多額の検査費用を考え、設備の設置をためらっている業者さんもある。

国の小型旅客船等安全対策事業費補助事業

令和4年4月に発生した知床遊覧船事故により、小型船舶の救命設備、通信設備などの安全措置が課題となり、早急な改善施策の実施が求められた。

小型旅客船等への安全設備の導入に際し、次の設備を導入した際の費用を補助するものである。

- ①改良型救命いかだ等の導入
- ②業務用無線設備の導入
- ③非常用位置等発信装置の導入

財産の無償譲渡について

牧野議員

譲渡予定地域は道路拡幅工事や通学路の整備が進んでいる。今回、保育所が移転し新設することで、子供たちの声の響く町になることを期待している。

しかし、譲渡予定地には、明治40年に東宮明宮嘉仁親王が海士へ行啓された際に植樹された歴史ある大楠が今もそびえ立っており、地元の方々が現在も大切にしている。譲渡にあたって慎重に話を進めるべきと思うが。

施設管理課長

移転に伴い、すべての建物構造物、樹木、石碑等については現状のまま引き渡す予定ではある。

石碑等については歴史的、社会的、文化的



旧西郷中学校跡地の大楠

に記念するために造られたものである。移転先の支障のない旧学校跡地内に移設する予定である。

しかし、敷地内中央付近にある大楠や記念樹として植樹された紅梅等の樹木については、台風などの強風で落枝や倒木により、園児、児童への危険性が高いこと、また、大木すぎて移植することが非常に困難であることから、広告等により町民へ周知し、意見を伺いながら伐採する方針を進める予定である。

布施地区漁業振興施設の指定管理について

前田議員

この施設は、旧布施村から新町に引き継がせたものだが、その約束経過の説明を。施設の範囲はどこまでか。

水産振興室長

約束経過の詳細は不明だ。

前田議員

この建物の奥に隣接して立派な油タンクがあるが、これは対象から除外か。

水産振興室長

指定管理の施設としては入っていない。

前田議員

油タンクの新設は非常に難しいこと。再利用か、撤去か、今後の対処はどうなるのか。

水産振興室長

廃止も含めて検討したい。



布施地区漁業振興施設

前田議員

町所有のまま漁業施設が残されたのは地域の漁業者のためにはよかったことだ。維持修繕費は町が負担して行くのか。

水産振興室長

町が修繕をする。

前田議員

漁業施設の所有が町所有でできるのなら、島内全域の老朽化して危険な状態の各地の漁業施設を、順次、町所有にして町が修繕改築してもよいのではないか。

水産振興室長

現在の所有者において計画し実施して戴きたい。

委員会傍聴の感想です



議会モニター
西村万里子 さん

委員会を傍聴して

12月の定例会の期間中、産業建設常任委員会の傍聴をさせて頂きました。

各担当課長、職員の皆さんの説明、それに対する議員の方々からの意見があり、双方の隠岐の島町を今以上に良くしていく為の前向きな話を伺うことができました。

中には本当に隠岐の島のことが見えてくるのかな？と思われる発言も有った様に思いました。個人の感想です。

でも全体的には議会での厳しい感じではなく和やかな雰囲気、リラックスして傍聴させてもらいました。

貴重なお時間を頂き有難うございました。

町政に問う！ 一般質問

祝 隠岐の島町町政20周年記念式典

紙面上、質問と答弁は要約した内容になっております。
全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載します。
またYouTube にて一般質問の動画も公開しております。



町長

……町長答弁

教育長

……教育長答弁

問

……議員質問

町長 外部評価を受け、この事業の重要性と町民のご期待を感

みは。外部評価を受け、町長の見解と今後の取り組み。外部評価を受け、町長の見解と今後の取り組み。外部評価を受け、町長の見解と今後の取り組み。

問 西郷港周辺整備事業の事業外部評価では「各事業について経済効果をもたらすのか」「町民の理解がえられていない部分が多い」との指摘があり、実施にあたっては理想が先行するのではなく、町民の声に耳を傾けるべきとの提言もされた。議会でも地域に対する説明不足と連携不足について議論がされた。外部評価を受け、町長の見解と今後の取り組み。

A 連携を図っていく

Q 港周辺整備事業、地域と情報共有と連携強化を



「じたところである。ここまで6年間、住民の皆さんと話し合いをしてきたが、結果的に評価通りの声があるのも事実だ。今後はさらに理解していたべくよう取り組みとともに、エリア内の自治会とも連携を図っていく。」

学力テストについては島根県は47都道府県の中で42番目、本町の中学については国語、数学ともに県の平均に達していない状況だ。また意識調査では「家

問 毎年小学6年生、中学3年生を対象に国語と算数（数学）の学力テストと意識調査を含む学力調査が行われている。

Q 学力向上対策を
A 家庭学習の確保とキャリア教育の充実を図る

学力の向上には、学校と家庭、教育委員会の連携が重要。学校は個々の生徒に応じた対応を求め、家庭へは家庭学習の確保をお願いし、教育委員会はキャリア教育の充実、教育環境の整備をはじめ様々な支援を実施する。

「庭学習の時間」「将来の夢や目標をもっているか」の数値が全国平均より低い。学力調査の結果だけで学校や生徒を評価するものではないが、子ども達に未来の選択肢を広げるためには重要であり、この検証結果を踏まえ、学力向上対策について今後の取り組みは。

教育長

学力の向上には、学校と家庭、教育委員会の連携が重要。学校は個々の生徒に応じた対応を求め、家庭へは家庭学習の確保をお願いし、教育委員会はキャリア教育の充実、教育環境の整備をはじめ様々な支援を実施する。





ふじの さだゆき 藤野 定幸 議員



Q二期8年の「ふるさと納税」に對しての総括は
A寄付金獲得に向けた取り組みを着実に実施してきた

問 平成29年度539件1867万、令和3年度1125件4414万、令和4年度1182件5130万、令和5年度1089件4591万と、本町では件数で2.02

〜2.19倍、納税額で2.36〜2.75倍に増えてきた「ふるさと納税」事業を三期目スタートするにあたりどのように総括したのか。

町長 新たな取り組みとして、ポータルサイトを1社から4社へ増設したことによ

り寄付金窓口を拡充し、令和3年度には「ガバメントクラウドファンディング制度」を導入した。昨年7月には大阪府泉佐野市と「ふるさと逸品協定」を取り交わした。同年8月には「企業版ふるさと納税」の対象自治体となり、企業からの寄付受け入れを開始した。

り寄付金窓口を拡充し、令和3年度には「ガバメントクラウドファンディング制度」を導入した。昨年7月には大阪府泉佐野市と「ふるさと逸品協定」を取り交わした。同年8月には「企業版ふるさと納税」の対象自治体となり、企業からの寄付受け入れを開始した。

Q今後どの様な方針で取り組むのか、令和6年度の現状は
Aこれまでの取り組みを継続し、拡大に取り組んでいく

問 プロモーションに力を入れて、隠岐の島町のファンを増やしながら、「ふるさと納税」を増額出来る様に頑張っていくうえで、今後どの様な方針で取り組むのか。また、令和6年度の現状は。

町長 現在使用しているパンフレット

を刷新し、よりインパクトのあるものを作成し、個人に向けた情報発信を強化する。既にラインナップされている返礼品や、今後、返礼品となり得る本町の特産品の周知に、戦略的に取り組んでいく。令和6年度は横ばいか若干少なくなる見込みである。本町の「ふるさと納税」について、町が一つとなった取り組みを進めていきたいと思う。



ふるさと納税返礼品



にしお こうたろう 西尾 幸太郎 議員



Q本町の「遺産」をどうしていくか
A関係各所と協議し、保存・活用していく

問 隠岐の島町には数ある「遺産」が多様な「遺産」が多数あり、五箇の「福浦トンネル」や布施の「浄土ヶ浦遊歩道」などが該当するが、ここ数年は経年劣化の影響で立入禁止状態が続いている。

町長として三期目の4年間でこの問題にどう取り組むのか。また、地域住民がこれまで守ってきた地域遺産も人口減少の影響で難しくなってきたているが。

町長 福浦トンネルについては、外からの鑑賞など安全な活用方法を出していきたい

い。浄土ヶ浦遊歩道は自然環境の保護や開発行為の規制が厳しく、整備実施は不透明であるが、環境省を始め関係機関と協議を行う。地域遺産については、各地域と協議できるように準備を進める。

Q地域おこし協力隊制度の農業分野での活用を
A農業人材確保のため、制度の利用を検討している

問 農林水産省の「農業次世代人材育成事業」は専業就農を前提に就農資金を提供する事業だが、地域おこし協力隊制度を経由した就農の場合は半農半Xが認められている。隠岐の島町は大型害獣の被害もなく、新規就農するのに適している。地域おこし協力隊制度を活用し、農業人材の定住と育成に取り

組むべきと考えるが。本町の農業分野においては、担い手不足や荒廃農地の増加などが喫緊の課題であると認識をしている。現在、担当課で地域おこし協力隊制度などを活用した、「農事組合法人」への派遣を検討している。

将来的には認定農業者として農業を担う人材の確保につながるよう検討を進める。



広大な農地



たかみや よういち
高宮 陽一 議員



地域規模・人口規模からも中出張所を廃止し中支所とすべきと思うが。

Q 中出張所を中支所に
A 支所・出張所のあ
り方を検討する

問 町長は、本年4
月に三選出馬を
決意した際、報道機関
に対して「農業を軸と
した第一次産業の再生
に加え、教育と子育て
支援策、郡部の振興策
には特に力を入れたい
」と言っている。「地域の
振興策に特に力を入れ
たい」という思いは同
感であり、各地域での
人材育成と地域振興策
は最重要課題として取
り組むべき時だ。その
ためには各支所の体制
強化が必要である。

特に地域の振興策に
力を入れたいというの
であれば、現在の中出
張所の体制では困難だ。

町長 地域の活性化を
目指し、支所・
出張所のあり方を含め
検討する。

Q 福祉・観光宿泊施
設の「譲渡・売却・廃
止」の検討状況は

A 難しい状況だが譲渡
への協議を進めたい

問 町所有の福祉施
設や観光宿泊施
設の「譲渡・売却・廃止
」についての私の一般質
問で、「現在補助金返還
や用途変更の可否、譲
渡価格等、施設ごとの
前提条件を整理してお
り、条件が整い次第譲
渡・売却の協議を進め
たい」と答弁していた。
現状はどうなっている
か。

福祉施設の現状
は人材の確保、
物価高騰による運営費
の上昇など、譲渡を進
めることは難しい状況
であり、支援をしなが
ら譲渡への協議を進め
たい。

また、観光宿泊施設
は、設備の経年劣化も
あり、現状の施設のま
までは譲渡・売却は難
しい。施設の大規模改
修を実施することで前
進するものと考えてい
る。

問 他の民間企業は
自前で努力して
おり、継承へ道筋をつ
けるためにも、今こそ
判断をし、計画を実現
すべきではないか。行
政主導で設立した法人
の優遇は終わりとすべ
きだ。

町長 更に努力したい。



むらかみ かねたけ
村上 謙武 議員



製材技術の向上、
製材品の高付加価
値化に取り組み。
漁業分野では、
新規沿岸漁業者の
育成及び支援策を継続
するとともに、磯根資
源の回復に向け取り組
む。

Q 第一次産業再生につ
ながる新たな制度、
各種支援策とは

A 後継者育成につな
がる起業支援等に
取り組む

問 本町の第一次産
業である農業・
林業・漁業のそれぞれ
の分野の再生につなが
る、町長が考える新た
な制度、各種支援策と
はどのような内容か、
3つの分野のそれぞれ
の概要は。

農業分野では、
公設民営も視野
に入れた企業誘致によ
るハウス栽培の検討や、
高度化技術への支援を
検討していく。
林業分野では、林業
事業体の施業効率の向
上支援や、製材品の出
荷量増加を図るための

また、地区公民館の
民営化推進や「集落地

地域活性化事業補助金」
でも地域の特性を生か
した振興が図れると考
える。

Q 郡部地域の特性を生
かした振興策とは

A 地域が元気になる好
循環を生み出すこと

問 郡部地域の特性
を生かした振興
策とは、具体的にどの
ような振興策を考えて
いるのか。

町長 地域が自ら考え
行動することに
より、地域が元気にな
る好循環を生み出すこ
とであると考えており、
令和3年度より「地域
振興補助金」による地
域課題の解決や活性化
に向けた取り組みの支
援を行っている。

また、地区公民館の
民営化推進や「集落地

私が表明した地
域特性を生かし
た郡部地域の振興策と
は、地域コミュニティ
の中で、住民が何を考
え、何を生み出し、何
をするのかということ
である。

また、地区公民館の
民営化推進や「集落地





まきの まきこ 議員
牧野 牧子



Q 難聴者への配慮を

A 窓口への「耳マーク」の設置を含め、障がいがある方への多様な対応を行う

問 日本の難聴者数は1260万人

は1260万人に上ると推計されており、日本の難聴者率（自己申告）は国民の約1割である。

本町内では聴覚障害による身体障害者手帳所持者の方は74人。しかし、障がい者と認められない「難聴者」または「中途失聴者」が他にも多くいるのではないかと考えられる。聴覚障害であることは、見た目にはわからない。「私は難聴者です」と言える人には、周りが配慮することができ

るが、中には、自ら難聴者であることを知られたくない方や、難聴者ということことで大きな声での対応をされることを嫌がる方も多い。

また、来庁されるのは、住民の方々だけではなく、他の自治体からの行政視察や他府県からの業者の方々の来庁もある。

本庁舎内、各窓口には難聴者の方々への配慮ができるよう「耳マーク」などを設置するなどの向上を図ってみてはどうか。

町長 共生社会の実現の為に、役場庁舎のみならず、いかなる場所においても、誰もがストレスを感じることなく利用できることならぬと考えられている。

聴覚に障がいがある方は、外見ではわかりにくいいため、社会生活

において誤解や不利益が生じることが少ない。また、呼ばれてもわからないなど、社会生活の中での不安は大きく、自ら聞こえが不自由であることを表すことも、とても勇気が必要なことではないかと想像できる。



本町役場窓口に設置された「耳マーク」



さいとう のりこ 議員
齋藤 則子



Q 本町の公園等の管理体制について

A 有償と無償で外部委託している

問 40以上ある公園等のうち、3つ

について、維持管理費、委託が直営かお尋ねする。

町長 浄土ヶ浦園地約90万円、かつぱ公園は約100万で外部委託、伊賀山フラワー公園は無償で地区住民に委託している。

この管理体制が適切か

A 浄土ヶ浦は国に要望を、かつぱ公園の件は担当部署に指示し、伊賀山は再調査の上検討する

この管理体制が適切かどうかの

参考に私の調査結果では、かつぱ公園はかつぱ伝説の説明板、他のものも設置以降放置されていたと思われ風化している。

植栽も然り剪定はされておらず、かつぱのレリーフを、また水路に降りる階段を隠し、水路で遊ぶ子供たちに何か起こっても見えない危険な有様だ。

伊賀山フラワー公園は原田地区の歴史を語る公園で、夜宮祭りが行われる「若林伊賀正記念碑」までの坂道は整備されているが、セメント階段は所どころ壊れて危険な状態だ。名前の由来の石楠花も哀れな姿だ。

浄土ヶ浦園地の遊歩道は環境省が設置した、春の大風で倒木により木の遊歩道は、今も通行止めだ。「訪れて良かった」からは程遠い状態だがどう管理すべ

きとお考えか。
町長 浄土ヶ浦園地の木の遊歩道は環境省が設置したもので来年度当初春ごろの修繕と回答を得ているが、早急に要望をあげていく。

かつぱ公園は樹木等については担当部署に指示する。

伊賀山フラワー公園は、現在利用されていないと聞く。原点に戻り利用の点も含め、再調査の上検討したい。



伊賀山フラワー公園散策路入り口



きくち まさふみ 議員
菊地 正文



Q 本町の観光施策について

A 本町の観光振興計画に基づいて進める

問 本町の発展は、人の交流があつてこそ、と思われる。

デジタル化とのバランスを取りながら地域と深く係る関係人口はUーターンのような人の行き来という観点から観光において誰でもいいから来てくださいではなく、本町ならではの魅力をターゲットに絞り込んで発信することが高付加価値化、すなわち稼ぐ力になりポテンシャルの高さと思われるが、町長の所見と認識を伺う。

町長 本町では、隠岐の島町観光協会、

隠岐ジオパーク推進機構と連携し、マーケティング調査に基づいた受地整備を心がけ、隠岐の多様な歴史や文化自然を満喫していただけるよう努めている。

また、隠岐民謡の体験、五箇創生館などの屋内コンテンツの整備もしている。



隠岐ジオゲートウェイ

Q 人口減少による集落の在り方は

A 集落を維持していくために、住民の意見を参考にする

問 人口減少は、一段と加速すること

が予測され少子高齢化は一層進む傾向にある本町でも、高齢者しか住んでいない集落の全てを維持していくことが困難になりつつある。将来にわたる地域の存続を見据えて、各集落によって課題解決の方策は異なると思うが、町長の認識と所見を伺う。

町長 町内のすべての地域を対象にUーターン支援事業、地域おこし協力隊の配置、関係人口対策を今後ますます発展させていく上でも、現集落の維持、活性化にかける支援策は必要で、維持が困難な地域には、住民の方々の意見を参考に検討したい。



やまだ こうた 議員
山田 浩太



Q 食料自給率の現状と課題は

A 県やJAと連携しながら適切な管理に取り組んでいく

問 先日開かれた「住民と議会の懇談会」の参加者からは、

隠岐で獲れた魚が手軽に食べられなくなっているという意見があつた。

これらの状況は様々な要因があると思われるが、本町の食料自給率に対する考えは。

町長 主食用米以外の野菜、肉類、魚介類は大半を島外仕入れに頼っている現状。理由は消費量に対し生産量が追いつかず、さらに近年の漁獲量の減少、島外で水揚げされていることなど。

結果、島外との競争に負ける。少しずつ取り組めることからやっ

ていきたい。

Q 本町の将来負担比率と、財政の透明性の確保について

A 将来負担比率は問題となる数値ではないと認識

問 財政状況に関する情報等を町民に対してどのように提供しているのか。

町長 広報誌やホームページで公開している。

今後も町民の声を反映しつつ情報提供を改善し、住民と行政が協力して持続可能な財政基盤の構築を目指し、将来的な町民生活や行政サービスの安定性に影響を与えないよう、計画的に投資を実行していく。

Q 子育て世代が楽しい休日を通じさせる町づくりを

A 都会のような大きな商業施設や飲食店はないが本町ならではのまちづくりに取り組んでいく

問 子育て世代の休日の過ごし方が公園等以外の選択肢が少なく、小さなお子さんを持つ子育て世代が困るのでは。

町長 西郷港周辺地域の整備において、将来の本町を担う子どもたちの意見も取り入れながら、様々な世代の方が集い交流する賑わいある空間となるよう計画している。





前田 芳樹 議員



平成26年に五箇地区区長会からも「五箇支所の建て替え要望書」が提出されていた。

Q 役場五箇支所の建て替えを

A 検討委員会を発足させ進める

平成28年3月定例会で「本庁舎の次には地域振興策の一環としても中出張所と五箇支所の庁舎建て替えを順次するべきではないか」と提案質問をしていた。

令和2年12月定例会では「役場本庁舎完成後に順次進めることとし、中出張所は令和3年度の基本設計で令和6年度の完成を目指し、五箇支所は令和5年度から基本設計に着手する予定としており、担当課で地域との調整を行っている」との具体的な町長答弁を拝聴していた。



行政施設の地域間均等化を

要望書を棚ざらしにしてはならず、地域住民たちをぬか喜びにさせてはならない。前言を翻すことなく、遅れを取り戻すほどに早急に具体的に取り組むべきではないか。

町長 遅れている。来年度には五箇支所庁舎建設検討委員会を発足させ進めて行く。

行政施設の地域間均等化を

Q 繁殖牛農家へ経営維持継続支援策を A 畜産農家と協議を進めて行く



経営維持継続支援策を

繁殖牛農家から悲鳴を聞く。飼料価格高騰と子牛の市場価格暴落で大きく採算割れをして赤字が続いている。

問 繁殖牛農家から悲鳴を聞く。飼料価格高騰と子牛の市場価格暴落で大きく採算割れをして赤字が続いている。

改善策4点を提案したい。①1頭当り10万円給付水準の価格補償制度を策定しては。②隠岐の家畜市場を年4回開催に。③飼育作業ヘルパー制度を構築しては。④「和牛改良組合」が求める支援策は何か協議を尽くし本町独自の上積み支援策を画策するべきではないか。

町長 畜産農家の方とは話す機会が多くあるので、何が必要か協議を進めて行く。

議員研修報告

令和6年度 島根県町村議会議員研修会

日時：令和6年10月11日(金)13:00～16:30
会場：松江市 島根県市町村振興センター
参加者：議員13名 事務局職員2名

講演 テーマ 1	「質問力の向上から政策提言へ」 講師 高沖 秀宣氏
講演 テーマ 2	「議会のコンプライアンスの基本」 講師 太田 雅幸氏

議員の一般質問に関して、様々な視点から、課題や重要なポイントを地方議員に示唆する講話であった。

議会のコンプライアンスに関する基本的な内容についての講演で、地方議員として普段あまり意識しない政治倫理について、注意すべき点も多く含まれる講話であった。

皆様からの請願・陳情等

件名	提出者	付託委員会	審査結果
陳情 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を 考える会 代表 丸山 治章		配付
要望 町内事業者と地域の持続的発展に向けた景気喚起策事業の実施およびキャッシュレス決済導入に係る支援策の実施について	隠岐の島町商工会 会長 金田 隆徳	産業建設 常任委員会	採択

当委員会に付託された、令和6年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正、工事請負変更契約、財産の無償譲渡、指定管理者の指定等の議案は、全て原案通り「可決すべし」とした。主なものを報告する。

地区分館との連携強化と主体的なまちづくり活動の支援を

審査の状況・結果

◆公民館設置及び

管理条例の一部改正

地区公民館である布施公民館、五箇公民館、都万公民館の管理を指定管理者に行わせることができるよう、条例改正を行うものである。

今後のスケジュールは、令和7年度より布施公民館の管理運営を民営化及び中地区の公民館の運営体制に向けた検討を開始し、あわせて五箇公民館及び都万公民館についても、指定管理者制度の導入を目指すものである。

委員会では、布施・中地区における検討状況について、詳しい説明を求め議論した。

委員からは「公民館運営審議会において、どのような意見が出ているのか」「町全体としての公民館の在り方や今後の方向性を示すべ

きだ」「民営化によって期待される効果は」等の意見があった。

担当課からは「コロナ禍等で、停滞した活動の支援が必要となっている中で、地区公民館を民営化していくにあたり、まず布施公民館を地区との協議のうえ、地域活性化を目的に実行したい。地域人材が主体となる組織で、公民館活動を推進することにより、これまで以上に、地域に密着した活動が展開され、人材の育成と地域振興に寄与することができるとも、指定管理者制度による、公民館事業の地域移行を進めていくが、公民館運営審議会においても『民営化した方が、地域の課題解決や社会教育の推進になる』等、民営化に賛同する意見であった」との説明であった。

委員会としては、地区分館との連携が強化

された、モデル的な公民館となるためにも、今後も情報を共有しながら、地域の主体的なまちづくり活動を支援するよう指摘をした。



4月から民営化へ 布施公民館

◆職員の給与に関する

条例の改正・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正・一般会計補正予算（人件費の増額）

この3議案は、国の人事院勧告及び島根県の人事委員会勧告などを参考にし、給与表及び期末勤勉手当の支給率の改正を行うものである。

委員からは「ラスパ

イレス指数はどうか」「評価システムが導入されたが、人事評価の結果が反映されたものになつていないのか」「管理職特別勤務手当の勤務時間変更は、これまで労働基準法からは、適用除外とされていたのか」等の意見があった。

担当課からは「ラスパイレス指数は、速報値を試算したところ、99.0%である。人事評価は実施しているが、勤勉手当に反映はしていない。ただ、令和8年4月1日以降に適用させるよう、評価の目線合わせや職員それぞれのレベルアップを図る等、人事評価制度そのものを高める取り組みを実施している。また、管理職特別勤務手当の対象となる勤務時間の変更については、公務員は、労働基準法の適用を受けないので、現状にそぐわないので

はないかと、全国的に言われ、現在の深夜勤務時間帯に合わされた」との説明であった。

所管の調査事項

◆町民歌について

シンガーソングライターの小椋佳氏に依頼し、待望の町民歌が誕生したものである。

委員会としては、町民に親しまれ、世代を超えて、末永く歌い継がれる町民歌となるためにも、様々な機会を活用し、広く普及に努めるよう要望する。



当委員会に付託された令和6年度補正予算及び条例の一部改正、工事請負変更契約の締結、指定管理者の指定等の議案は、全て原案通り「可決すべし」とした。主なものを報告する。

安全で魅力ある観光施設に必要な環境整備を

審査の状況・結果

◆小型旅客船等安全対策事業補助金

789万円

知床遊覧船事故以降、小型旅客船等に安全設備の設置が義務化された。本町の観光の基軸であるローソク島遊覧船及び小型旅客船等計8隻に対し、安全航行を確保するための、新たな安全設備を設置するための補助である。

委員から「新たな安全設備の義務化により、小型旅客船（遊漁船）の運航者が減少してしまわないか」との意見に、「高齢化による減少はあるが、安全設備の設置による減少はないのではないか」との担当課より説明があった。

◆塩の浜海岸管理費及び景観保全環境整備費

334万円

塩の浜はマリンスポーツなどに訪れる利用者や、観光客など多

くの人が集う場所である。委員から「大掛かりな海浜清掃も必要ではあるが、利用客が安心して海遊びができるよう期間を限定し、危険なプラスチックなどを取り除いた『安全エリア』を設けてみてはどうか」など指摘をした。

委員から「大掛かりな海浜清掃も必要ではあるが、利用客が安心して海遊びができるよう期間を限定し、危険なプラスチックなどを取り除いた『安全エリア』を設けてみてはどうか」など指摘をした。



塩の浜海岸

◆主な指定管理者の指定

・西郷お魚センター

「コロナ禍以降、飲食業界全体が厳しい状況の中、継続して運営してきた実績と地元水産物の安定した供給体制を確立していることや施設の特性を踏まえた

運営が可能として選定に至った」との報告があった。

しかし、閑散期対策が課題として挙げられていることから、現在進行している西郷港周辺のまちづくりとも連携をしていくよう委員会として指摘した。

・隠岐の島町観光宿泊施設（ホテルMIYABI）

当該施設の指定管理者として令和4年度から管理運営をしており、安定経営を図りながら新たなグランピング施設を造るなど、観光振興に貢献しているとの報告があった。

◆要望（第2号）

町内事業者と地域の持続的発展に向けた景気喚起策事業の実施およびキャッシュレス決済導入に係る支援策の実施について

「本町でも物価高は続き消費は冷え込んでおり支援が必要である」と今後、キャッシュレス

決済が島内外で必要不可欠となる。本来なら事業者が導入費用を準備すべきであるが、導入費用の準備でさえ厳しい状況である」など、委員会では、これらの厳しい状況を鑑み、要望（第2号）について、全会一致で「採択すべし」とした。

調査事項

◆隠岐温泉泉源活用実証実験

令和6年11月1日から令和7年3月末まで町内観光宿泊施設（ホテルMIYABI）にて隠岐温泉泉源活用の実証実験を行っている。担当課から、宿泊客からは好評であり、衛生管理・搬送・給水方法などについても十分であるとの説明があった。

委員会では「宿泊施設に温泉があることで観光の強みになる」と町

内福祉施設などでの利用も考えてみてはどうか」などの指摘をした。



ホテル MIYABI

◆隠岐ジオパーク推進機構（隠岐DMO）

隠岐DMOの組織体制、中期の事業計画、また令和5、6年度の実施事業の成果などについて説明を求めた。

委員会では説明を受け、ジオパークの役割や組織体制に関して「大地の成り立ち・生態系・人の営みとともに、伝統文化を知らせていくことが重要ではないか」などの多くの質疑がおこなわれた。

令和6年度 第2回 住民の皆様との懇談会



会場：農村環境改善センター（五箇郡）
日時：11月16日（土）10:00～12:00
住民参加者：8人 議員：11人

【懇談会での参加者からの主な意見等】

- ① 隠岐温泉GOKAについて
 - ・隠岐温泉GOKAにはメリットが多く、健康促進となり、利用客の健康寿命は延びるはずだ。
 - ・医療費軽減につながるはずなので、島民に広くPRすべきだ。
 - ・福祉だけでなく、商工観光とも連携して温泉を残すよう、区長会からも町に要望している。飲食を伴う温泉施設にすべきでは。
 - ・温泉に通って膝の関節痛がなくなり、正座ができるようになった。温泉効果が多大であるため、温泉をやめないで欲しい。
 - ・早急に検討委員会（役場・議会・識者・住民等）を設置し、今後の方針を示すべきだ。
 - ・観光の面からも、また福祉の面からも必要な施設である。



会場：隠岐の島町図書館 研修室
日時：11月16日（土）14:00～16:00
住民参加者：11人 議員：10人

【懇談会での参加者からの主な意見等】

- ① 西郷港周辺のまちづくりについて
 - ・フェリーターミナルは多くの島民が利用しているにも関わらず、西郷港周辺のまちづくりの進捗状況が分からない。また、みんなが利用できるまちづくりになっているのかさえ伝わってこない。
 - ・子どもと共にまちづくりをしている格好にして、子どもを利用して計画が進んでいるように思う。実際、子どもからは冷めた意見しか聞かない。
 - ・高齢者や大人たちが楽しんでいる姿を子どもたちに見せることがまちづくりであると思う。形だけのまちづくりにならないよう進めて頂きたい。
 - ・住民は進行状況や計画について理解していない。どうなるか不安に思っている。
 - ・地域住民の理解を得るための努力が足りない。



会場：中出張所
日時：11月17日（日）10:00～12:00
住民参加者：11人 議員：9人

【懇談会での参加者からの主な意見等】

- ① 中出張所から中支所への格上げについて
 - ・中出張所を支所にどのような理由でできないのか？ならない理由を説明してほしい。新庁舎完成を目標にして支所にするよう提案する。
 - ・出張所の権限などを充実して欲しい。
- ② 公共交通機関の課題について
 - ・公共交通であるバス停が中村は少ない。屋根もトイレもない。元屋は全くバスが通っていない。
 - ・中村～布施間の連絡バスを運行して欲しい。
 - ・フェリーターミナル発中村行きのバスが、夕方のレインボーが西郷港に着く少し前に発車してしまうことがある。何とかならないか。
 - ・郡部の人たちが本土に出る時に、港の駐車場代金が高くて困る。



会場：役場町民ホール
日時：11月17日（日）14:00～16:00
住民参加者：13人 議員：10人

【懇談会での参加者からの主な意見等】

- ① 西郷港周辺のまちづくり・産業振興について
 - ・中町の空き地を交通広場の名目で進めるのが理解できない。
 - ・港周辺整備の情報が少ない。いろいろな情報をわかりやすく公開して欲しい。
 - ・地域の住民さんの意見が後回しになっているのでは。
 - ・隠岐の島町のブランド品の取り組みが分からない。掛け声はあるが、その後の対応が見えない。一次産業に対してもっと取り組んで欲しい。
 - ・畜産業への対応が喫緊の課題なのに、半年にもなるがまだ検討中では遅すぎる。各部署の連携や、引き継ぎが行われていないのではないかな。

備考：懇談会での皆様からのご意見やご指摘等は、役場執行部に伝え、説明と対応を求めて参ります。

採決の状況

第5回臨時会 全会一致で可決・承認した議案

令和6年度 一般会計補正予算(第5号) 専決処分	隠岐の島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
隠岐の島町生活排水処理施設条例の一部改正	工事請負契約の締結〔令和6年度港整備交付金小津久港防波堤改良工事〕
令和6年度 一般会計補正予算(第6号)	

第4回定例会 全会一致で可決・同意・採択した議案

隠岐広域連合規約の一部変更	隠岐の島町上下水道事業経営審議会設置条例
隠岐の島町職員の給与に関する条例の一部改正	隠岐の島町福祉医療費助成条例の一部改正
隠岐の島町子ども等医療費助成条例の一部改正	隠岐の島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
隠岐の島町公民館設置及び管理条例の一部改正	隠岐の島町公共料金等審議会条例の一部改正
隠岐の島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	町道路線の変更
工事請負変更契約の締結〔令和6年度社交金町道中町中条線一本橋橋梁更新(2期)工事〕	工事請負変更契約の締結〔隠岐の島町離島留学学生寮建設(建築2期)工事〕
工事請負変更契約の締結〔西郷南中学校大規模改修工事(1期)〕	財産の無償譲渡
指定管理者の指定〔西郷お魚センター(1階鮮魚・加工品販売所)〕	指定管理者の指定〔西郷お魚センター(2階レストラン)〕
指定管理者の指定〔布施地区漁業振興施設〕	指定管理者の指定〔島後斎場 愁霊苑〕
指定管理者の指定〔隠岐の島町総合体育館・隠岐の島町運動公園〕	指定管理者の指定〔隠岐の島町牧野〕
指定管理者の指定〔隠岐の島町観光宿泊施設〕	令和6年度 一般会計補正予算(第7号)
令和6年度 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	令和6年度 水道事業会計補正予算(第2号)
令和6年度 下水道事業会計補正予算(第2号)	【同意】隠岐の島町副町長の選任同意
【同意】隠岐の島町教育委員会委員の任命同意	【要望】町内事業者と地域の持続的発展に向けた景気喚起策事業の実施およびキャッシュレス決済導入に係る支援策の実施について

編集後記

大きな災害の二ニュースもなく、穏やかな新年の始めとなりました。

昨年は、石破政権が少数与党で誕生し、また本町では池田町政三期目がスタートしました。

令和5年夏号より町内7小学校のご協力を頂き、児童たちの元気な様子を表紙にさせて頂きました。また町民の皆様には懇談会に参加を頂き、かつ多くのご意見やご指摘を頂き、心からお礼を申し上げます。

今回の懇談会は新たな議会のもとで行われますが、多くの皆様に参加いただければと願っています。

今回の「議会だより」が現体制での最後の編集となりましたが、議会だよりの発行、懇談会の開催など、皆様のご協力により委員長の仕事が果たすことができたと感謝しております。

最後に、本年も町民の皆様方にとりまして、最良の年になりまようご祈念申し上げます。

委員長 藤野定幸